

都市再生整備計画 事後評価シート
砂山・今福地区

令和2年1月

和歌山県和歌山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県		市町村名	和歌山市		地区名	砂山・今福地区			面積	158.3ha		
交付期間	平成27～令和元年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	889.7	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道砂山63号線、(仮称)砂山コミュニティ緑道、市道砂山手平線、【公園】むつみこども園南側、(県立和歌山商業高等学校西側、【地域生活基盤施設】地域防災施設(公園:県立和歌山商業高等学校西側内)、【高質空間形成施設】(仮称)砂山コミュニティ緑道、市道雄湊西浜線・市道今福17号線										
		提案事業	【地域創造支援事業】狭隘道路対策事業、空き家対策事業、【事業活用調査】事業効果分析業務、都市計画道路等整備を活かしたまちづくり手法検討、【まちづくり活動支援事業】緑のネットワーク推進事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	【地域創造支援事業】狭隘道路対策事業 【地域創造支援事業】空き家対策事業 【まちづくり活動支援事業】緑のネットワーク推進事業				・計画期間内に事業を実施する目処が立たない ・地元住民と和歌山大学の協働により事業を実施(別事業) ・計画期間内に事業を実施する目処が立たない			・居住環境の満足度を下方修正 ・影響なし ・居住環境の満足度を下方修正			
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】市道今福17号線・市道愛徳整肢園南線				・今福認定こども園の建設に伴う市道の歩道整備			・影響なし			
交付期間の変更	当初	平成27～令和元年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	居住環境の満足度	%	22	基準年度	H26	28	R1	33.6	○	あり なし	道路・公園整備などにより、地区内の安全性・快適性を中心とした居住環境の向上が図られ、目標を上回る効果が発現した。	令和2年9月
	指標2	住民主体のまちづくり活動の開催回数	回	24	H26	48	R1	51	○	あり なし	地区の整備による、まちが変わっているという状況が、住民主体のまちづくり活動への機運を高め、清掃・緑化・健康・防災などをテーマとする様々な活動が着実に実施され、目標を上回る効果が発現した。	令和2年9月	
	指標3	地区内移動環境の改善状況	台/12h	496	H26	50	R1	313	△	あり なし	道路整備により、県立高校敷地内道路の通過交通は4割程度減少したが、約9割の低減を目指した目標達成には至らなかった。 ●しかし、周辺住民や学校関係者等による通行は一定程度存在することから、それ以外の一般通過交通については計測された減少率以上に低減できたと考えられる。	令和2年9月	
	指標4									あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	ピーク時(8～9:00)の自動車交通量	台/時	92	H26				38		道路整備により、県立高校敷地内通路のピーク時の通過交通量は6割程度減少し、通学時などの安全性確保に確実に効果が発現した。周辺住民や学校関係者等による通行は一定程度存在することから、それ以外の一般通過交通については計測された減少率以上に低減できたと考えられる。	令和2年9月	
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	基幹事業ならびに提案事業の推進を通じて、より一層の住民主体のまちづくり活動の展開、一般住民のまちづくり機運の醸成等に繋げていく。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●			充実している活動の継続的な実施を図る。	

様式2-2 地区の概要

砂山・今福地区(和歌山県和歌山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:誰もが安全で安心し、末永く心豊かに暮らせる魅力ある居住環境の創出と、住民主体のまちづくり活動の確立	居住環境の満足度向上	%	22	H26	28	R1	33.6	R1
目標1:災害に強い、安心安全で利便性が高い居住環境づくり	住民主体のまちづくり活動の回数の増加	回	24	H26	48	R1	51	R1
目標2:まちに愛着を持つ人々と次世代を育てる、ふれあいの交流環境づくり	地区内移動環境の改善状況(通過交通台数削減)	台/12h	496	H26	50	R1	313	R1
目標3:住民主体の積極的な活動展開による、緑や自然と共生した美しい魅力ある街なみ環境づくり								



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 各種の道路整備事業の実施により、避難道路の確保と安全な歩道・通学路の確保を実現した。 (仮称)砂山コミュニティ緑道の新設により、緊急車両が進入できる道路と避難道路の確保するとともに、狭小幅員道路の一部拡幅整備を実現した。 防災機能を有する公園の整備により、防災拠点を充実させた。 特定非営利活動法人愛福会、砂山パンまつりおよび関連自治会による防災訓練等の活動の実施により防災組織体制の充実が図られた。 道路整備、公園整備等による歩行者等の安全性・快適性の向上、および緑地・防災拠点の確保を図り、子育て世代等の定住促進のための居住環境の向上を図った。 (仮称)砂山コミュニティ緑道整備、はなみずき通り(市道雄湊西浜線、市道今福17号線)街路樹等歩行者空間整備、公園整備により、高質な道路空間の創出と緑地を確保した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 防災性を向上し、若者や子育て世代を含む多世代が交流できる賑わいのある広場空間、交流拠点を整備する。 安全性・利便性の観点から優先される生活道路を整備する。 統一感のある地区内の道路等の公共空間を創出する。 地域の歴史財産である郭家住宅(登録有形文化財)を、地域住民や来訪者の交流拠点として保存活用する。 道路や公園、多世代が活動し交流できる拠点を整備し、安全安心で若者や子育て世代から暮らしたいと選ばれる居住環境を整備する。 まちづくりNPO法人(都市再生推進法人)を中心とする住民主体のまちづくり活動をより充実させるため、地域住民全体のまちづくり活動やコミュニティ活動への参画促進を図る。 道路整備による当該エリアの交通状況の変化を踏まえた県立高校敷地内通路の通行に関する住み分け等、安全と利便性を両立させるための取組を検討する。 地区南部における幹線道路の整備や狭い道路を改善するため、都市計画道路今福神前線等の整備や、「和歌山市狭あい道路拡幅整備補助金制度」を活用した前面道路からの自主的な壁面後退による道路拡幅などが必要。